

身分と人々のくらし

今日の問い

江戸時代の人々はどのような身分に分けられ、どんなくらしをしていたのだろう。

左の問いに答えるつもりで、右のノートの下線に語句を書こう。最後に「まとめ」で今日の問いに答えよう。

問い・キーワード

ノート 下線に語句を書こう

1 どんな身分があり、どこに住んだか。

武士・百姓・町人、城下町

江戸時代の社会で、人々を身分に分けて治めたしくみを ¹ _____ といい、身分はおもに親から子へ受けつがれた。武士は名字を名のり、刀を差す ² _____ などの特権をもった。人口の約85%をしめた ³ _____ は村に住み、年貢を納めた。商人や職人である ⁴ _____ は、大名の城を中心とする ⁵ _____ などに住んだ。

2 村はどう治められ、どんな差別があったか。

庄屋・五人組、差別された人々

村では、土地を持つ ⁶ _____ の中から、⁷ _____ (名主)などの村役人が選ばれた。土地を持たない百姓は ⁸ _____ と呼ばれた。百姓は収穫の4～5割ほどの ⁹ _____ を納め、村役人が取りまとめた。幕府や藩は数戸ずつを ¹⁰ _____ にまとめ、年貢の納入や犯罪の防止に連帯責任を負わせた。えた身分・ひにん身分とされた人々は厳しく差別されたが、社会に必要な仕事をにない、社会を支えた。

まとめ

今日の問いに答えよう。「身分制度」「年貢」の2語を使って、2文で書きなさい。

☐ 武士・百姓・町人のちがいがわかる

☐ 村のしくみを説明できる

☐ 差別された人々について説明できる

できた ☐ / 10

